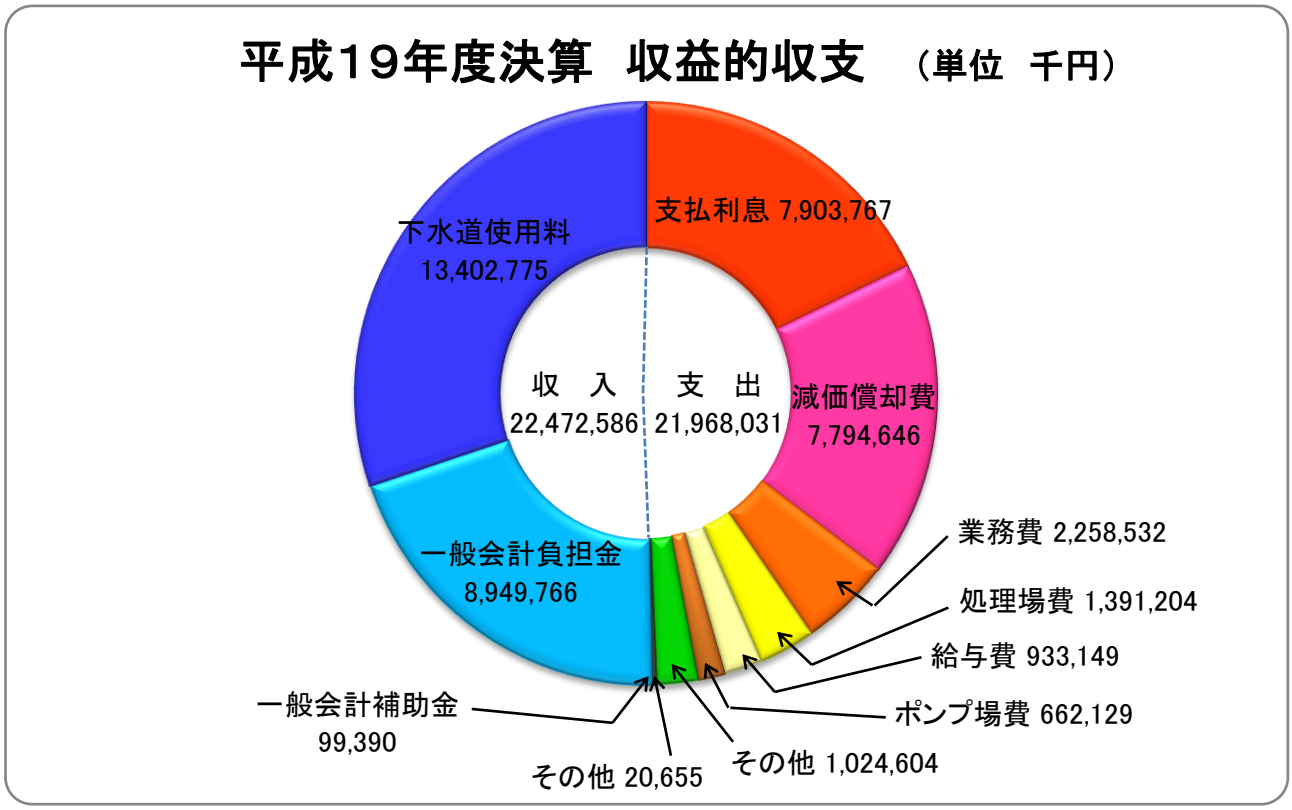
ー平成19年度　決算の概要ー

※　下水道事業会計は、下水道使用料などを財源とした独立採算の会計であり、一般の会社の会計方式に似た方式を取っています。
そして内訳は、収益的収支と資本的収支に分けられます。

1．収益的収支

※　収益的収支とは、下水道関係施設の維持管理などの経営に関するお金のことです。

＜収益的収支　決算＞



＜収入＞

区　分	予　算　額	決　算　額	予算額に比べ 決算額の増減
	千円	千円	千円
第1款　下水道事業収益	22,800,663	22,472,586	△ 328,077
第1項　営業収益	22,373,516	22,367,629	△ 5,887
第2項　営業外収益 他	427,147	104,957	△ 322,190

※　営業収益とは、使用者の皆様からの下水道使用料や一般会計からの負担金などのことです。
※　営業外収益とは、市の一般会計からの補助金などのことです。

＜支出＞

区　分	予 算 額	決 算 額	不 用 額
	千円	千円	千円
第1款　下水道事業費用	22,329,663	21,968,031	361,632
第1項　営業費用	13,973,349	13,678,824	294,525
第2項　営業外費用 他	8,356,314	8,289,207	67,107

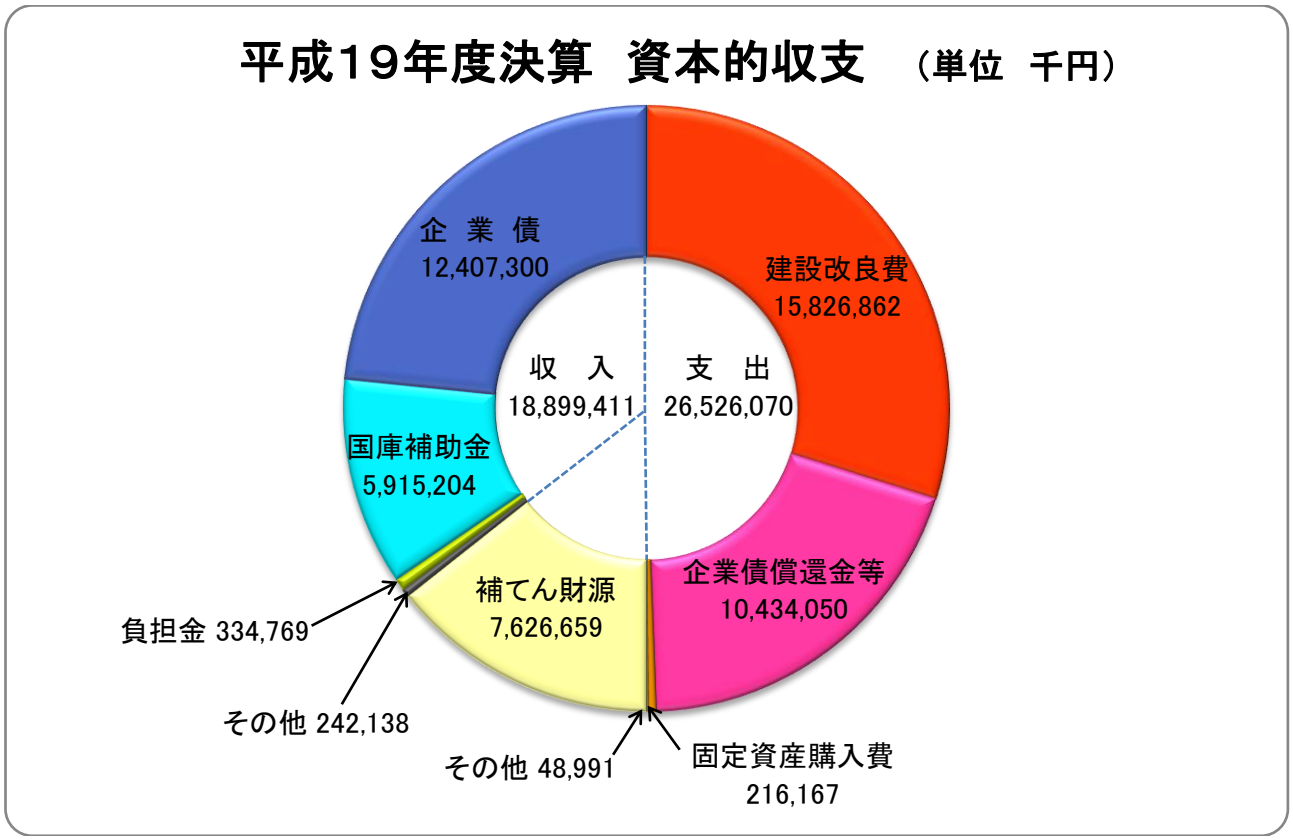
※　営業費用とは、下水道関係施設の維持管理費と減価償却費（下水道管やポンプ場・処理場の設備などを取得したときの金額を、一時に全額計上するのではなく、その使用に耐える年数で割り、その額を毎年計上していく費用）などのことです。

※　営業外費用とは、建設するときに借りたお金の支払い利息などのことです。

2. 資本的収支

※　資本的収支とは、施設の建設に関するお金のことです。その内訳は、①建設財源である企業債、国庫補助金、②施設の建設費や改良費、③建設時に借り入れた企業債の償還金などです。

＜資本的収支　決算＞



＜収入＞

区　分	予 算 額	決 算 額	予算額に比べ決算額の増減
	千円	千円	千円
第1款　資本的収入	28,476,034	18,899,411	△ 9,576,623
第1項　企業債	17,972,400	12,407,300	△ 5,565,100
第2項　補助金	9,917,471	5,915,204	△ 4,002,267
第3項　負担金 他	586,163	576,907	△ 9,256

※　企業債とは、施設の建設・改良等のために借りたお金のことです。
※　補助金とは、国から交付されるお金のことです。

＜支出＞

区　分	予 算 額	決 算 額	翌年度繰越額	不 用 額
	千円	千円	千円	千円
第1款　資本的支出	36,638,910	26,526,070	7,965,546	2,147,294
第1項　建設改良費	25,282,329	15,826,862	7,939,506	1,515,961
第2項　固定資産購入費	509,700	216,167	0	293,533
第3項　償還金 他	10,846,881	10,483,041	26,040	337,800

※　建設改良費とは、下水道施設（下水道管、ポンプ場施設、処理場施設）の建設や改良・更新にかかる費用のことです。
※　固定資産購入費とは、事業上必要な固定資産（土地や自動車、器具、電話加入権や施設の利用権など）の購入費用のことです。
※　償還金とは、企業債の返済金のことです。

ー平成19年度の主な事業ー

下水道は、快適で衛生的な生活環境への改善、雨水排除による浸水の防除及び公共用水域の水質の保全のため、欠かせない都市の重要な基盤施設であるとともに、地球環境に配慮した循環型社会の形成に大きな役割を担っています。
このため本市では、第2次5か年計画において、公共下水道を、快適な生活環境に整え、安全で災害に強いまちづくりに必要な施設として位置づけ、整備を推進してまいりました。

この結果、平成 19 年度末の事業認可面積 13,067 ヘクタールのうち、12,112 ヘクタールが整備済となり、整備率は 92.7 パーセントとなりました。
また、行政区域内人口 938,330 人に対し、整備区域内人口 909,080 人となり、下水道汚水処理普及率は、前年度より 0.2 ポイント上昇し、96.9 パーセントとなりました。このうち下水道接続人口は、前年度より 16,156 人増加し 887,291 人となりましたので、接続率は 97.6 パーセントとなりました。

＜主要な建設改良事業＞

▼下水道管工事費　71 億 2,837 万円
〇中央雨水1号貯留幹線2工区の工事
〇稲毛黒砂貯留管その2の工事　など
（※　その他、武石町2丁目、浜野町、土気町等の面的整備を推進し、合計 35 ヘクタールを整備しました。）

▼ポンプ場工事費　45 億 456 万円
〇中央雨水ポンプ場の工事
〇蘇我雨水ポンプ場の設備の改良工事　など

▼処理場工事費　31 億 3,843 万円
　〇南部浄化センター高度処理施設の建設
　〇中央浄化センター汚泥輸送圧送設備の整備
　〇南部浄化センター設備の更新工事　など

　今後も、より安全で快適な都市環境を実現するため、衛生的な生活環境への改善、雨水排除による浸水の防除及び公共用水域の水質の保全などを着実に推進するとともに、より一層のコスト縮減等を図り、健全な経営に努めてまいります。

※　なお、さらに詳しい情報をご覧になりたい方は、中央コミュニティセンター2階、市政情報室で資料の閲覧が可能ですのでご利用ください。